

若者のスポーツボランティア 意識向上のために

—SNSを活用した情報発信—

江戸川大学

小林ゼミA

◎小林優斗◎齋藤聡◎庄司理生◎宮川幸大◎宮本浩太郎

緒言

2020年「東京オリンピック・パラリンピック」開催！！

「大会ボランティア」⇒ 8万人

「都市ボランティア」⇒ 3万人

スポーツボランティアの存在は不可欠！！

スポーツボランティアとは？

「報酬を目的としないで、クラブの団体や活動、指導を支え、自らの時間を提供し、大会の運営を支えること。」

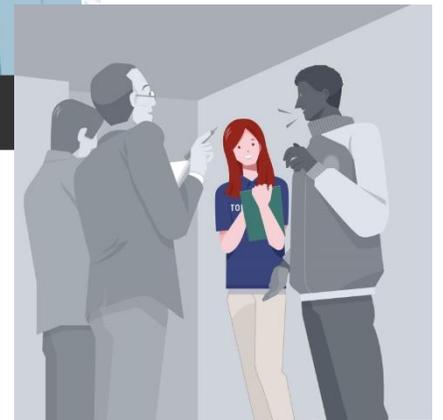


大会ボランティアとは？

・競技が行われる会場や選手的生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動をする。

大会ボランティアの主な活動

1. 案内・・・ 会場内等で観客や大会関係者の案内、セキュリティチェックのサポートを行う。
2. 競技・・・ 競技会場や練習会場内で競技運営等のサポートを行う。
3. 移動サポート・・・ 大会関係者が会場間を移動する際に車を運転し、快適な移動となるようサポートをする。
4. アテンド・・・ 海外要人等が快適に日本で生活できるよう、空港や会場等様々な場所で接遇を行う。



5. 運営サポート...

競技会場、選手村、車両運行等の様々な運営サポートを行う。例えば、配布施設でのスタッフのユニフォーム配布や、大会関係者が保有するIDの発行などを行う。



6. ヘルスケア...

選手にけが人が出た場合、医務室への搬送サポートを行う。



7. テクノロジー...

大会関係者等に向けて、通信機器等の貸出しや回収等のサポートを行う。



8. メディア...

国内外のメディアが円滑に取材できるよう、様々なサポートを行う。記者会見の準備のサポート等を行う。



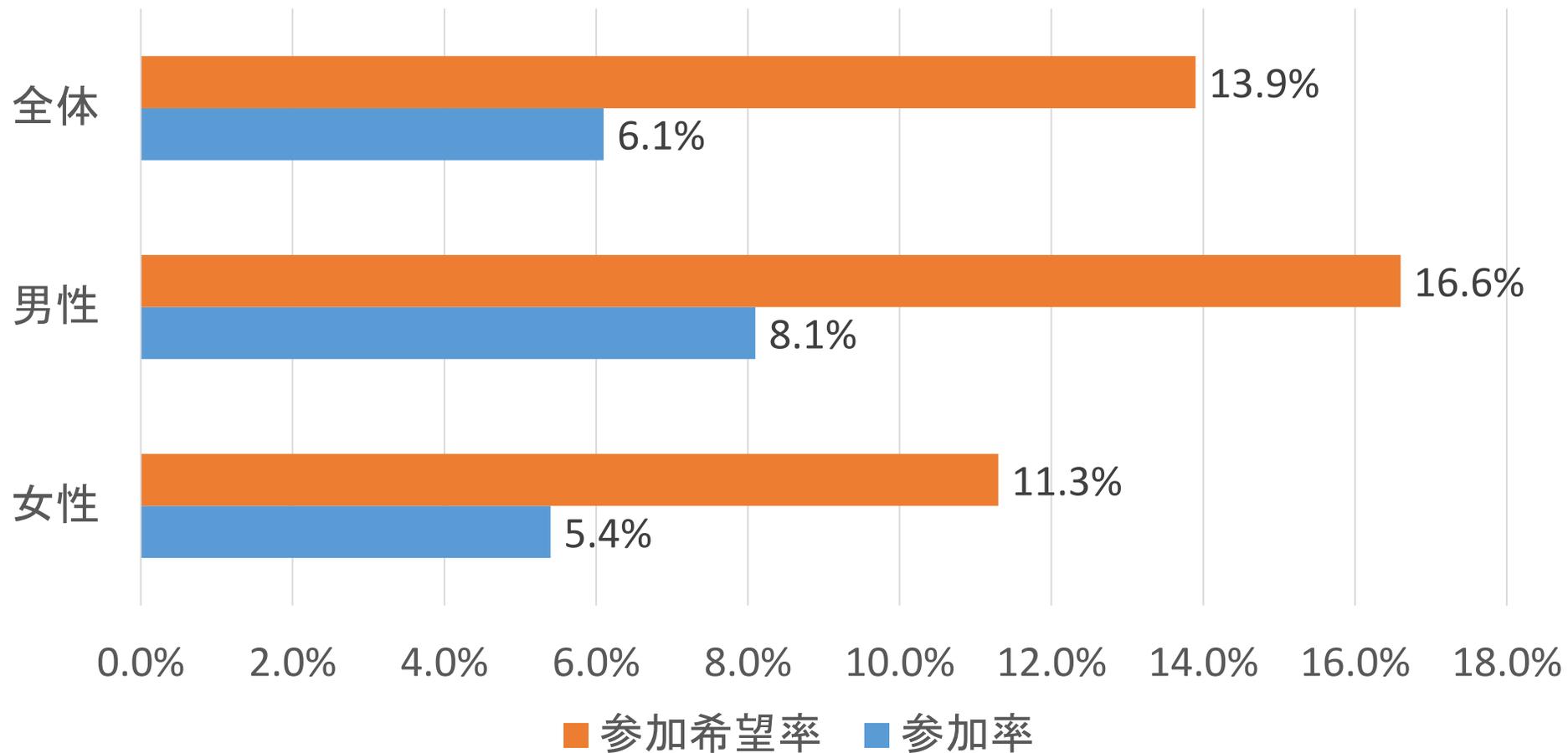
9. 式典...

各競技の表彰式において、選手や大会関係者の案内を行う。また、メダル・記念品の運搬等も行う。

都市ボランティアとは？

- 開催都市・東京の「顔」として、選手をはじめとする大会関係者や国内外からの旅行者・観光客等を「おもてなしの心」を持ってお迎えする
- 明るく、楽しい雰囲気以案内することで、大会に花を添え、盛り上げの一翼を担う

スポーツボランティア実施率と参加希望率



※実施率、参加希望率が低く、ボランティアへの関心・意識が低いことが分かる。

東京オリンピック・パラリンピックを含め、
スポーツボランティアの関心意識を高めたい

中でも10～20代の

若い世代を中心に、いかに意識を高めるか！

10代～20代への関心意識・参加率を上げるために

ボランティアアカウント作成を義務化し
情報発信の強化すること
を提案

研究方法

- (1) 文献調査

書籍、新聞、雑誌、インターネットによる調査

- (2) ヒアリング調査(2018年8月13日)

対象：NPO法人日本スポーツボランティアネットワーク



調查結果

スポーツボランティア参加率

過去1年間でスポーツボランティアに参加した率は 6.7% (18歳以上)

しかし見るスポーツ(観戦など)の参加率は 88%
するスポーツ(実際にプレー)の参加率は 72%

決してスポーツに関心がないわけではない!

(笹川スポーツ財団によれば)

人々はなぜボランティアを
しないのだろうか？

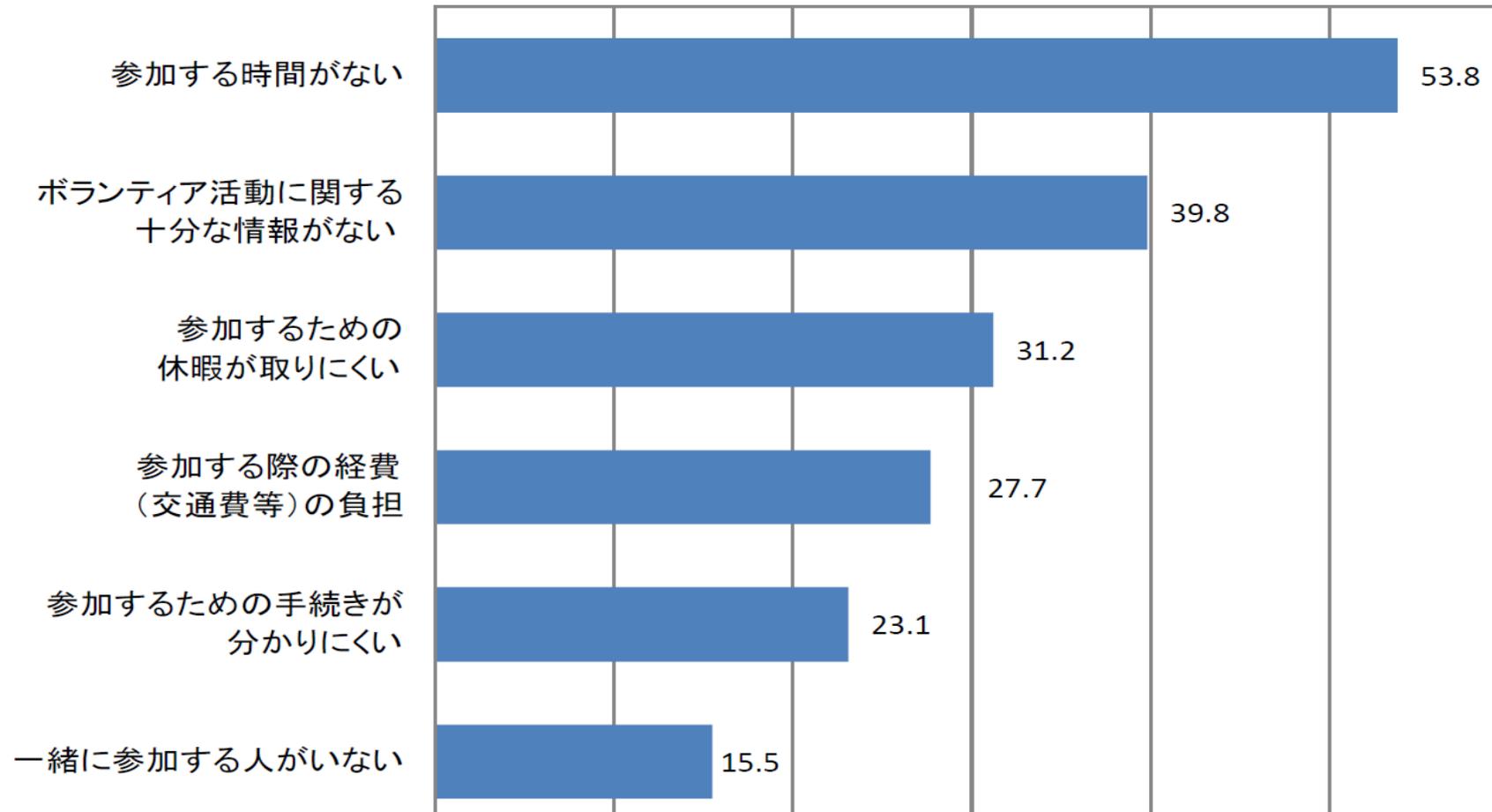


(1) 応募受付ホームページがわかりにくい、使いづらい

- 応募フォームの入力には約30分かかる
- 英語でSNSアカウントを入力するよう要求される



(2) ボランティアを行う時間がない

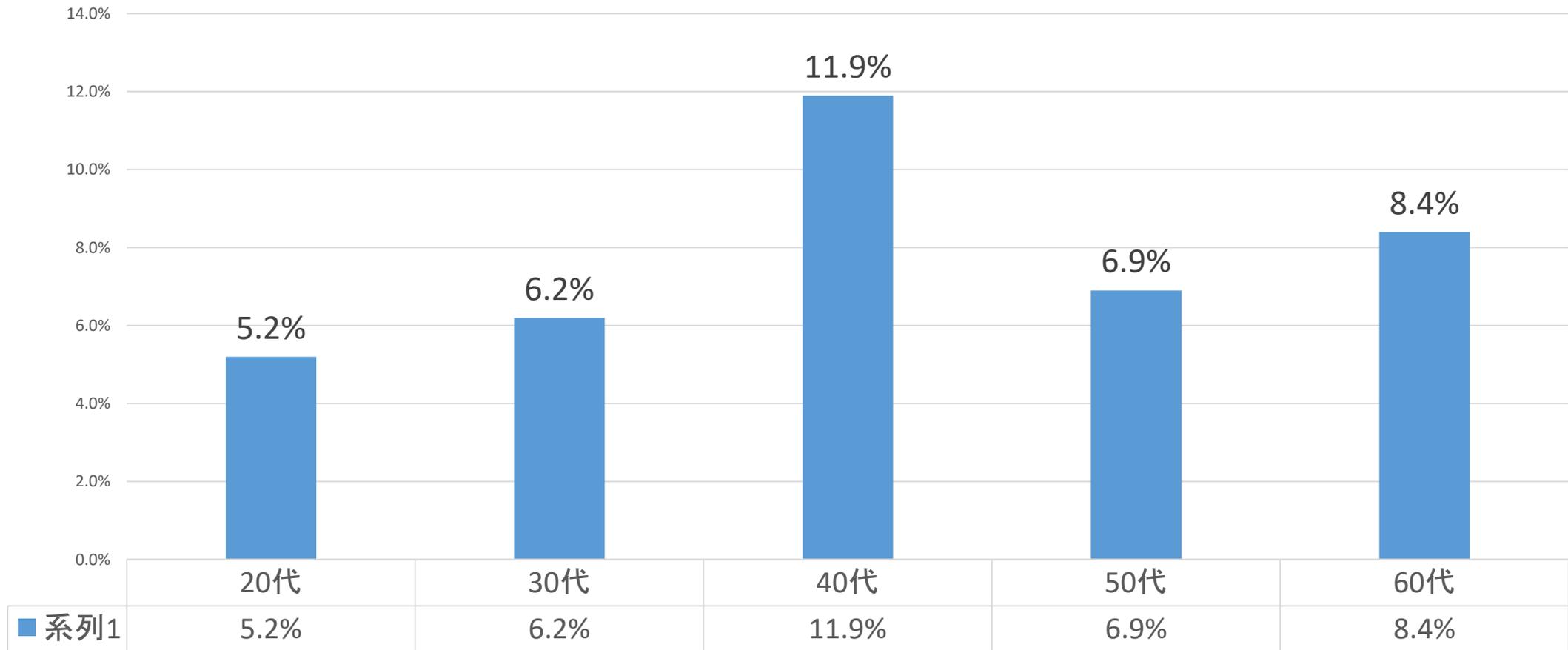


内閣府「市民の社会貢献に関する意識調査」によれば

(3)若い世代のボランティア 参加率が少ない



スポーツボランティア実施率



(4)地域スポーツイベントのボランティアとプロスポーツボランティアの参加率が異なる。

- 地域で活躍するボランティア、団体では60代、プロスポーツボランティアが活用するボランティア組織、団体では20～40代の活動が中心。(笹川スポーツ財団)

考えられる
要因



SNSの活用

公益財団法人金沢市スポーツ事業団

- 金沢市内でのスポーツイベントのサポート活動
- 金沢マラソン、金沢ウォーク、その他金沢市内で開催のスポーツイベントでの活動
- 参加資格：金沢市に在住、在勤、在学もしくは金沢市近郊の学校に在学している18歳以上（高校生を除く）の方。

かなざわスポーツネット:

<https://www.kanazawa-sports.jp/volunteer/>

金沢市スポーツ事業団Facebook:

<https://ja-jp.facebook.com/kanazawasportsnet/>



金沢市スポーツ事業団
非営利団体



お問い合わせ



横浜市スポーツボランティアセンター

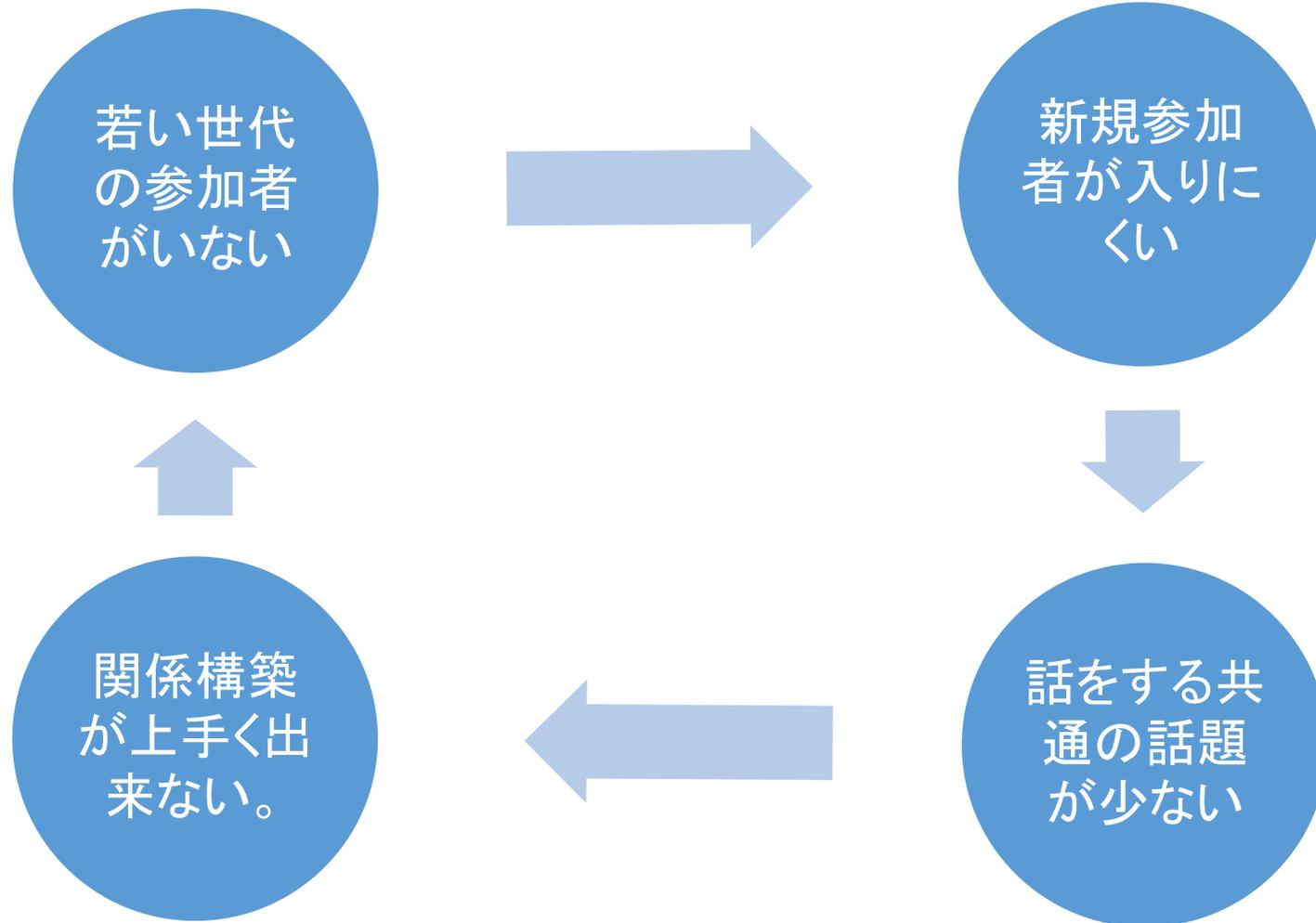
- ボランティアの募集・登録を行い、ボランティア活動を身近に感じてもらうため、「横浜マラソン」や「横浜トライアスロンシリーズ横浜大会」など、市内で開催される大規模スポーツイベントのボランティア情報を提供。
- 多くの方が積極的にスポーツボランティア活動に関われるよう、研修会や講習会を開催。



横浜市スポーツボランティアセンター:

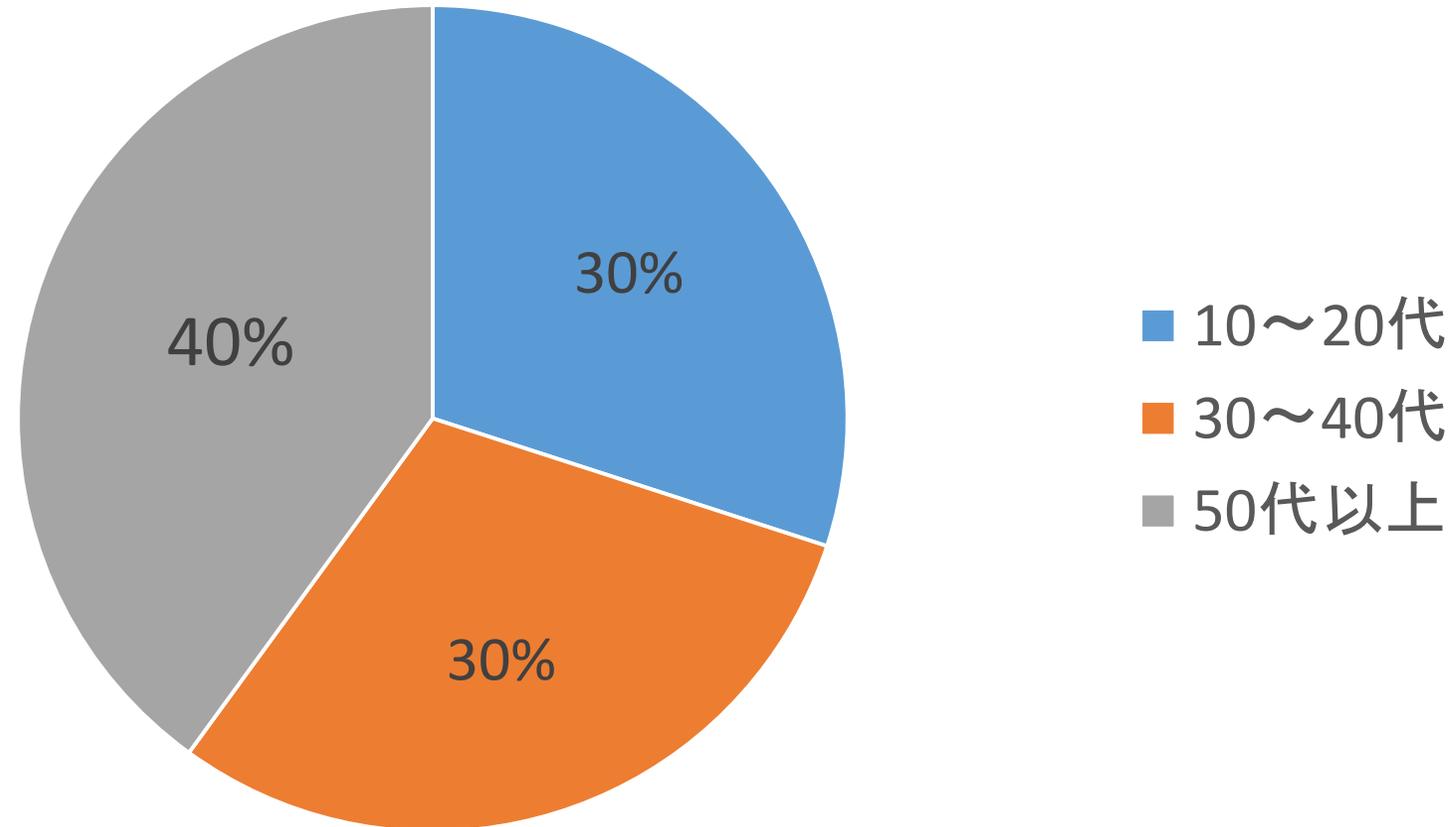
<http://sports.yokohama-volunteer.jp/spo-v/>

(5) 地域スポーツボランティア団体に所属している年齢層が高く、考えが硬直している。



私たちが考えるボランティア団体の理想年代

幅広い世代での構成



**ボランティアのSNSアカウント作成
を義務化し、情報発信の強化をする
ことを提案**



事例：川崎フロンターレ・ボランティアアカウント

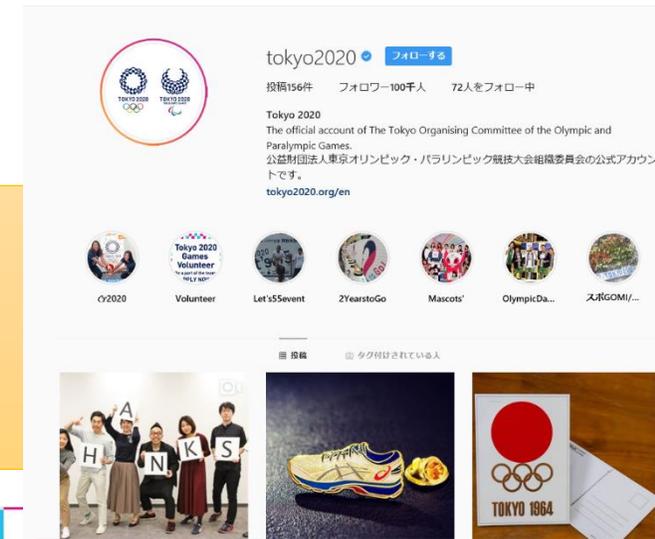
- Twitterアカウントでの情報発信
- アカウントのフォロワーは6000人を超える
- 245人が登録
 - 15歳～80歳の幅広い世代がボランティアに参加している。
- マスコットの活動やボランティア活動の様子を、写真や動画で投稿
 - とても楽しそうな雰囲気を発信



東京オリンピック・パラリンピックのSNS状況

- 東京オリンピック・パラリンピックの公式SNS (Twitter・Instagramなど)はあるが、ボランティアについての発信は弱いように思える。

これでは、ボランティアの「楽しさ」や「必要性」
など、若者に情報が届かない！

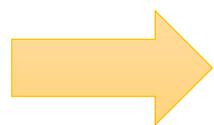


「Tokyo2020」:<https://twitter.com/Tokyo2020jp>

「Tokyo2020」:<https://www.instagram.com/Tokyo2020/>



大会主催側が ボランティアのSNSアカウントを作成



「情報の可視化」

- ◆ LINE
- ◆ Twitter
- ◆ Instagram
- ◆ Facebook など



若者が多く利用しているSNS

- LINE
- Twitter
- Instagram
- Facebook

SNSを有効活用することが必要！



LINE・Twitter・Instagramなどを利用している割合 (2016)

全体	⇒ <u>71.2%</u>
20代	⇒ <u>97.7%</u>
40代	⇒ <u>78.3%</u>
50代	⇒ <u>60.6%</u>

20代は他の年代に比べ非常に高い

ボランティアのSNSアカウント作成を義務化し、情報発信を強化をする！



期待される効果

①スポーツボランティアの普及

②地域活性化に繋がる

③若者の社会貢献の機会となる

期待される効果①: スポーツボランティアの普及

SNSで発信

スポーツボラ
ンティアの認
知度がアップ

スポーツボラ
ンティアが普
及する!

期待される効果②：地域活性化に繋がる

ボランティアを通し、スポーツ環境の充実化、世代間の理解を深める

幅広い世代間での地域住民同士のコミュニケーションの場となる

地域活性化
に繋がる！

期待される効果③: 若者の社会貢献の機会となる

SNSを見た
若者が興味
関心を持つ

興味関心を
持った若者
が参加する

若者の社会
貢献の貴重
な機会とな
る!

参考文献

笹川スポーツ財団(2016)スポーツライフデータ2016

(<http://www.ssf.or.jp/default.aspx>)

笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」2012

([Crt-japan.jp](http://crt-japan.jp))

川崎フロンターレ: (<http://twitter/kfvolunteer>)

総務省平成29年度情報通信白書

(<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc111130.html>)

まなべる みつかる スポボラ.net: (<https://spovol.net>)

内閣府「市民の社会貢献に関する実態調査」

<http://www.npo-homepage.go.jp/toukei/shiminkouken-chousa/2016shiminkouken-chousa>

ご静聴ありがとうございました。

江戸川大学 小林ゼミ Aチーム